

仮設きずな新聞



第28号

ピースボート災害ボランティアセンター
石巻市中央2-4-6
090 (6639) 6467

色んな「いのまき」が集まる ワークスペースオープン

6月2日
オープン!

石巻で復興支援活動を続けるPBVですが、今後、より地域に密着し、地元の方々と共に元気な石巻の町づくりを担う為、コミュニティスペース「ピースボートセンターいのまき」を6月2日（土）にオープンする事となりました。



ピースボートセンターいのまき
外観（現在改装中）

石巻駅から徒歩10分の立町1丁目。PBVの石巻本部となつて、『廣山』の正面に立つ建物（石巻商工会議所の隣）の1階部分

主要設備は下記に示した通りですが、他にもインターネットラジオ放送設備やUstream（インターネット上で動画共有）の中継設備があり、これらを使って今後、街の情報発信プロジェクト等を行うべく予定しています。



イベント用ステージも完備!

冒頭での言葉通り、PBVは震災からの復興だけでなく、石巻を含む日本の地方都市が共通して抱える中心市街地の空洞化等の課題

ら、調べ物をしたい、お喋りしたい、待ち合わせ場所に、疲れたからちよつと休憩等々：色んな人が集まれる場所にしたいと考えています。また、今後一緒に運営をするボランティアも石巻の方を中心に募集する予定です。

り組んでいきます。克服する為には先ずそこに目を向ける人の存在が一人でも多く必要です。その為に石巻内外関わらず、センターでの出会いや取り組みを通して一緒にこの街の事を学び、考えていけるような場所にしていきます。先ずはそこから一緒に歩んで行ければと思つていま（かっきー）



インターネットが使えるパソコンや地域でのイベントチラシを設置予定

- 施設名称
ピースボートセンターいのまき
- 所在地
宮城県石巻市立町1丁目5-21
- オープン時間
10時～19時（年中無休）
- 主な設備
インターネットパソコンコーナー
- iPad
- 無料WiFi接続
- ギヤラリースペース
- イベントスペース等々



担ぎ手は「神輿で活気と被災地の笑顔を取り戻したい」と、東京都あきる野市他各地の神輿会から集まった約100人のボランティアが、宿泊先を確保することが難しいため、往復夜行バスという強行軍で挑んだということです。



今は更地の多くなつた町を練り歩く神輿を見ながら、手を合わせると声を掛ける人、涙を流す人。沢山の思いを乗せた神輿は、4時間の渡御を終え日和山に帰ってきました。また来年も元気ある御祭礼が開催されることを切に願います。（あき）

団地にお邪魔します！ 趣味を持って幸せ

今回は大橋団地にお住まいの阿部ともいのお宅にお邪魔しました。趣味はパッチワーク。針と布さえあれば出来るのでしよう。手を動かしている間は何か考えている暇もなく、気が済むし、私は本当にいい趣味を持ってたわ」と話すともえさん。「肩が痛い、目が痛い」と言いつつも、温泉に行くときでさえ針と布を持つて行くといひます。



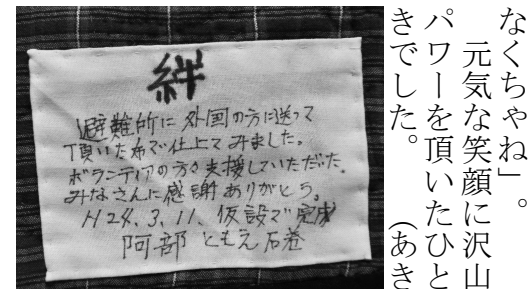
石巻芸術文化祭にも出展

避難所でパッチワークをしていて、素敵な出逢いがあったそうです。「ボラティアで来ていた外国人の方に、突然名前と連絡先を聞かれたの。後日カタール（中東の国）から綺麗な色の布が送られてきて。びっくりしたけれど、せっかくだから『きちん』と作品に仕上げないと」と思つて、心を込めて作り直した。「絆」と名付けられた

仮設住宅「シルセンター」を開設しました

仮設住宅へお住まいの皆さんからの電話での問い合わせについて、「仮設住宅コールセンター」で受け付けます。

仮設住宅の退去に関する事
仮設住宅の浄化槽に関する事
害虫駆除等に関する事
住宅周辺の設備等に関する事
その他仮設住宅に関する事
問被災市民生活支援課
（市報5月15日号）
（内線4766）
（市報5月15日号）
（より抜粋）
詳細は市報5月15日号をご覧ください。
（編集部）



作品「絆」の裏に付けられたタグ

木の屋くじら祭り

2012年5月27日（日）9:00～14:00
木の屋石巻水産 仮事務所1F
吉野町2丁目1-26（七十七銀行湊支店向かい）

鯨商品この日限りの大特価!

目玉商品
ミンク鯨赤肉400g 1,000円
鯨トイフロック200g

そのほか、地元生産者による海産乾物、新鮮野菜、メンチカツなどの販売！
落語イベントも開催！
お問合せ：0225-23-1234

雄勝クラフトフェア

2012年5月27日（日）10:00～15:00
おがつ店こ屋商店街（旧雄勝総合支所前）

雄勝の工芸品が勢ぞろい!

雄勝硯、石皿、勝箸
名振のマザーミサンガ
船越レディースの雄勝石アクセサリーなど

主催：石巻かほく商工会青年部 おがつ店こ屋共栄会

この間、ピースボートセンターいのまきのオープン準備をしています。色んな人の手が増え、毎日の生活が変化していくのが楽しいです。手伝ってくれた元大工さんから、「作業も大事だけど、片付けも大事。片付けたら次の仕事が見えてくる」と言われました。すぐく基本的な事だけでなく、改めて言われると、その基本的な事を忘れていた自分が付きます。日々精進です。（かっきー）

月刊おがつ
購読者募集
雄勝町出身の皆様！雄勝地区震災復興まちづくり協議会発行の「月刊おがつ」をご存知ですか？本紙裏面に今月号を転載しました。申込をすれば無料で郵送して下さるとのことです。雄勝の情報が知りたい方、ぜひ購読してみたい方が増えたいと思つています。購読申し込み（無料）雄勝総合支所 0225(57)2111

編集後記

月刊 雄勝

第10号

平成24年5月1日発行
正田 雄祐 編集長

発行：雄勝地区震災復興
まちづくり協議会
所在：宮城県石巻市雄勝町
小島字和田123
電話：0225-57-2111(支所内)
FAX：0225-57-2521(支所内)

高台移転、ついに始動



昨年、雄勝復興協議会で視察した新潟県・山古志の
集団移転地および復興住宅の様子 (撮影：正田雄祐)

震災後最大の懸念…移転
平成24年4月19日、市・県・国が復興について協議する『石巻市復興整備協議会』が宮城県庁で行われ、国側の同意を受け復興整備計画が事実上成立した。
この計画には、旧雄勝町エリアをはじめとして、旧牡鹿町の十八成浜(くぐなりはま)など11地区の防災集団移転促進事業が盛り込まれている。

雄勝では名振など4地区

県内で集団移転事業が決まったのは3月の岩沼市6地区と石巻市2地区に続き、県内で2度目。早期の整備が期待される。
石巻市内における集団移転の対象は63地区に上る。今回の決定により、既に3月に決定した鹿立浜地区・小室地区に加え、今回の11地区を含めると計13地区321戸(948人)の移転が決まったことになる。
旧雄勝町エリアでは、名振・船越・熊沢・大須の4地区(計画上では熊沢と大須を併せて1地区として扱われている)の集団移転が決まった。熊沢・大須地区は移転により、震災前にくらべ集落の位置が近づくという。
本決定で了承された4地区の集団移転事業によって、雄勝エリアの他地区の進展が加速することが期待される。雄勝総合支所では、スムーズに進めたい考えだ。

震災直後からの願い

本紙創刊以前の震災直後から、各所の集落・浜を回る中で聞かれたのは『もう浜には住めない』という絶望にも似た声だった。その声を反映するように、5月の雄勝復興協議会の結成時には『早期に高台への移転を！』と全員一致で方向性が見いだされた。震災発生から1年2カ月が経とうとしている現在、『生きる』ことに不自由しなくなりたいまま、求められているのは『この先もずっと暮らす』という事への安心感ではないだろうか。



新潟県長岡市での視察勉強会の様子
下は現地職員による丁寧な現場説明

広島県熊野町から

応援メッセージ!



歓談する三村・熊野町長と相澤総合支所長
総合支所(雄心苑内)にてメッセージを並べて。

平成24年4月18日、毛筆生産日本一の広島県熊野町から、熊野町の皆さんが書いた応援メッセージが届きました。
この日、三村裕史・熊野町長が雄勝総合支所を訪れ、7、8メートルもの長さの和紙に書かれた町民の皆さんの気持ちを手渡して下さいました。
『小さな心配りがあつまれば大きな力となる。』『今は我慢。耐え忍んで頑張ってください。』など、温もりのある筆字で書かれた、力強い励まし言葉がぎっしりと並んでいました。

復興まちづくり協議会 —インフォメーション—

『雄勝の若手、活躍しています!』
雄勝地区復興まちづくり協議会では現在、『総勢40名近い全協議員による決定では復興の遅滞を招く』との懸念から、若手と後見役の協議員を集めた『まちづくりプロジェクト委員会』を中心に活動しています。
メンバーには高橋頼雄さん、小松光さん、阿部晃成さんら雄勝生え抜きの若手に加え、本紙の正田さん、支援団体『トモノテ』の中川さんなど、雄勝を愛する外部の人材も集まり、『50代は若手』という雄勝を更に若返らせていきます!



雄心苑に置かれた総合支所内での会議の様子。
この日も若手+後見役の間で激論が交わされた。

- ◆ 大須地区 八幡神社例大祭
日時 5月5日(土) (神楽…11時頃)
場所 大須 (神楽奉納…宮守宅)
その他 漫画家岡野玲子さん、演出家手塚眞さんが激励に訪れます。



- ◆ 桑浜羽坂地区 白銀神社例祭奉祝祭
日時 5月9日(水) (神楽…11時頃)
場所 桑浜・羽坂 (神楽奉納…羽坂憩いの家)
その他 竹下景子さんが激励に訪れます。

- ◆ 立浜地区 北野神社例祭奉祝祭
日時 5月13日(日) (神楽…11時頃)
場所 立浜 (神楽奉納…立浜会館跡)
その他 静岡県浜松市『創作太鼓・悟空』など

今日のおしらせ



お知らせ

● 今月の題字

『題字募集』も本号でついに4回目になりました!
今月は過去三回の中で再掲載の声が高かった畑山修賢さんの『雄勝』を掲載します!
まだまだ募集は続いています!
ぜひご応募下さいね!

● 退任のご挨拶

本号の編集をもちまして、船長こと正田雄祐は編集長の任から退任させて頂く運びとなりました。
震災以前から何度となく足を運んだ雄勝。そして一年前のあの日から、物資支援や炊き出しに奔走し、5月からは復興協議会やプロジェクト委員会に加わらせて頂きました。結果として、昨年はその半分以上を大浜で過ごす事にもなりました。
寒い日は暖を、腹が空けばご飯を、不安な夜は話し相手を…優しさを届けに来たはずが、多くの人にそれを頂いた1年でした。本当にありがとうございました。

募集

毎号、題字を募集します!

月刊おがつでは、紙面右上の『雄勝』の題字を読者の皆さんから大募集! 毎号、投稿された皆さんの題字が紙面を飾ります。奮ってご応募ください!

■ 募集要項

◆文字:『雄勝』の二文字 ◆用紙:白半紙
◆用具:筆と墨(黒色) ◆書き方:縦書き。半紙中央の横21×縦29cmの範囲に。

■ 応募方法と宛先

ペンネーム/年齢/お名前/ご住所/電話番号を明記の上、『月刊おがつ題字係』と書いて下記宛にお送りください。

〒986-1332

宮城県石巻市雄勝町小島字和田 123

※発表は掲載をもって代えさせていただきます。

雄店情 勝屋報

5/4,5は北海道物産展!!

北海道石狩市から雄勝へ!

そして5月27日(日)は、雄勝クラフトフェア!!
雄勝硯や石皿などの工芸品や、マザーミサंगा、船越レディースのペンダント、勝箸など雄勝ゆかりの手作り品を販売。硯実演も予定しています!!



★雄勝クラフトフェア★ 5月27日(日)は店こ屋へ!!

